

各委員からの御意見

1. 石橋委員の提出資料
2. 清原委員の提出資料
3. 近藤委員の提出資料
4. 福田委員の提出資料

石橋委員提出資料

平成22年5月31日

総務省 地上放送課 企画係 御中

(社)日本ケーブルテレビ連盟

副理事長 専務理事 石橋 庸敏

第7次中間答申に向けて(検討案)への意見

意見:1

検討案の内容	1.アナログ放送終了を迎えるための体制・取組強化(関係者の役割) ・ケーブルテレビのデジアナ変換の早期実施
意見	・早期実施につき賛同します。 但し、強電界地域等のケーブルテレビ事業者は、地上アナログ放送との干渉により早期実施が出来ないこともある点、留意、理解していただく必要があります。 したがいまして、“特別の事情がない限り早期実施”という様な付属的記述を入れていただきたく存じます。 ・また、強電界地区でデジアナ変換リハーサルを実施し、問題点・課題の抽出を行い、関係者間で対応策を検討することも有効と考えます。

意見:2

検討案の内容	1.アナログ放送終了を迎えるための体制・取組強化(関係者の役割) ・地域住民から相当の問い合わせが想定される地方公共団体については、住民からの電話相談担当を配置するなどの取組みを行う
意見	・5月27日に公表された「地上デジタルテレビ放送に関する浸透度調査の結果(総務省、DPA 調)」によれば、地デジ対応型テレビを保有していない世帯の理由としては、「まだ時間的余裕がある」、「経済的余裕がない」などの理由が挙げられています。 - また、地デジを視聴できない理由としては、「アンテナが地デジに対応していない」、「共同受信施設が地デジに対応していない」などの理由が挙げられており、地デジ視聴に対しては受動的な色合いの濃い世帯となっています。 ・来年の地デジ移行を控えた最終局面となる本年度においては、こうした受動的世帯に対して国や送信側などの働きかけだけではなく、地域住民に最も影響力のある地方公共団体による木目の細かい且つ強い働きかけが必要になってきていると考えます。 ・具体的には、地方公共団体による「住民からの電話相談担当の配置」、「庁舎ロビー等での臨時相談コーナーの設置」、「広報誌・回覧板・掲示板による最後の周知」、「民生委員による高齢者宅への集中訪問・最後の確認」など、主体的な働きかけを検討・実施していただくことが有効と考えます。 ・特に、地域住民からの相談・問合せ等につきましては、専門知識を有する関係者(家電販売店、アンテナ工事業者、ケーブルテレビ事業者、放送事業者など)から、必要に応じて地方公共団体へ応援要員を派遣することなどが有効と考えます。

清原委員提出資料

第7次中間答申案に関する意見

委員：三鷹市長 清原 慶子

第7次中間答申案について下記の意見を提出します。
反映していただきますよう、お願い致します。

1. アナログ放送終了を迎えるための体制・取組強化、の記述について
- ②問い合わせが分散する取組み・・・横の分散、において、
「地域住民から相当の問合せが想定される地方公共団体については、住民からの電話相談担当を配置するなどの取組を行う。」とあります。
同様に、2. あらゆる手法を活用した周知徹底、の記述においても、
- ②地方公共団体の項目のうち、
「地方公共団体における相談の受付（住民からの相談に対応できるよう職員研修）」とあります。

地方公共団体において、このような取組がなされることが望ましいことは同感です。三鷹市においても、このような相談体制をとってきた経過があります。

しかしながら、いずれの地方公共団体でも、現在は厳しい財政難に直面しており、国からの一定の補助ないし交付金制度が伴わない場合、自主的に実施することは困難と考えられます。

こうした体制を奨励し保障できる財政確保を含む記述でないと、実効性が無いと考えます。

近藤委員提出資料

地デジ移行に支援の必要な高齢者への支援活動報告

3月に実施した、80歳以上の地デジ調査でわかったことは、高齢者がデジタル放送を受信（デジタル放送で見た番組がみられない）できない理由は以下のようなものでした。

1) 若い（子供）世代と同居していないため、必要な情報が得られない。

対策 → デジサポ説明会や訪問指導に行政や地域市民団体と連携を図る

神奈川県では、県議会で問題提起していただき、デジサポ神奈川が65歳以上対象に訪問するための返信用はがきつきパンフレットを作成し、福祉団体や地域の町内会等を通じて、今月から配布を開始しました。（参考：パンフレット）

5月に老テク研究会が企画した電子政府、電子自治体を考えるシンポジウムにご出演いただいた松崎県議会議員が中心となって2月に県議会で提案していただきました。韓国ではデジタルテレビ（CATV）で電子行政サービスの実験が始まっています。

参考 → これから（超高齢社会）の電子政府・電子自治体を考えるシンポジウム

<http://www.mellow-club.org/e-govsympo/index.html>

当日の資料や東京大学安田講堂の記録映像も公開しています。

2) デジタルテレビを購入したが、アンテナ、STB等が適切に対応していない。

対策 → メディアや店頭、企業やデジサポ説明会等を通じて広く広報していただく。

3) の取り組みであるNPOや民生委員からも情報提供を行う。

3) テレビやアンテナが対応していても、リモコン操作ができない。（覚えられない）

対策 → 高齢者とデジタルテレビについて検討する銀デジ研究会を形成。

東京大学先端研中邑研究室に協力していただいて、会合を重ねています。

モデル1 大阪市富田林市の場合 民生委員と情報NPOが連携

地元の民生委員とパソコン講習会を行っているNPOが連携して支援できないか毎週、東京大学から老テク研究会とビデオチャットをしながら研究しています。

8月25日に、民生委員のための地デジセミナーを実施。

モデル2 兵庫県宝塚市の場合 NPOと福祉団体が連携

厚生労働省外郭団体、福祉医療機構の助成事業として採択されたので、情報NPO団体と地域の福祉施設が連携した高齢者のデジタル化支援モデルを検討しています。

モデル3 JEITAと使いやすいテレビについて意見交換

ボランティア団体の電子会議室を通じて、60代以上の方々にご意見をうかがっています。よろしければ ぜひごらんいただき、ご意見を書きこんでください。

高齢者に使いやすいデジタルテレビを考える（メロウ倶楽部期間限定会議室）

http://www.mellow-club.org/cgi-bin/free_bbs/10-semi3/wforum.cgi

9月に、高齢者とデジタル放送についてシンポジウムを開催します。

高齢者に使いやすいデジタルテレビについて

韓国ではタッチパネルのテレビで新聞が読める！

韓国のデジタル図書館で、大型テレビで新聞が読めるサービスを体験しました。

先日の電子政府・電子自治体シンポジウムで紹介した2分ちょっと映像の、最後に登場します。

<http://www.youtube.com/watch?v=l-QAjjwJ8dTQ>

タッチパネルで操作するデジタルテレビ。すでに販売されているそうです。

操作ボタンは、画面の下に 中央に大きなボタン、何でもリセットできるボタン。

文字を大きくする 小さくするボタンがそのとなりにあり、表示もわかりやすいです。

テレビの場合は音声を大きくする、小さくするに対応するのでしょうか。

リモコンはなし！！番組など情報を選択するのは、すべて画面に、文字と写真で 表示されます。

画面操作ボタンはひとつ。画面上から目的の情報（番組）にたどりつけます。

音声と文字の大小ボタンは それぞれひとつ、情報選択は すべて画面に直接 タッチ。

こういうテレビが、ネットの利用できる場所（家庭でも施設でも）にあればいいと思います。

大きなものから、雑誌サイズくらいまで選べて、i P a dみたいな同期とかの知識がなくても使えたら、いいなあと思います。 箱から出して すぐに使えるようになってないと困ります！！

デジタルテレビのリモコンで小さいボタンを操作するのは 本当に 苦痛です。



ソウルの国立デジタル図書館にて 2010年4月22日撮影

デジタルテレビ（CATV）で電子行政サービス 韓国ソウル市江南区役所の実証実験

国連で世界一の電子政府国家と評価される韓国。—市民IT教室は公共事業です。

PCとネットで利用できる韓国の行政サービスは5500種類。

住民票や戸籍謄本の発行など市民に身近なサービスも、オンラインで提供しています。

自宅のプリンターで印刷する場合は、無料です。

パソコンの苦手な高齢者や主婦、障害者のためのPC教室は自治体が無料で開催しています。

地方の小さな役所は、市民むけのフロントサービスは不要になり、住民センターとして、

PC教室と福祉サービスの拠点としてコミュニティ活動を支援しています。

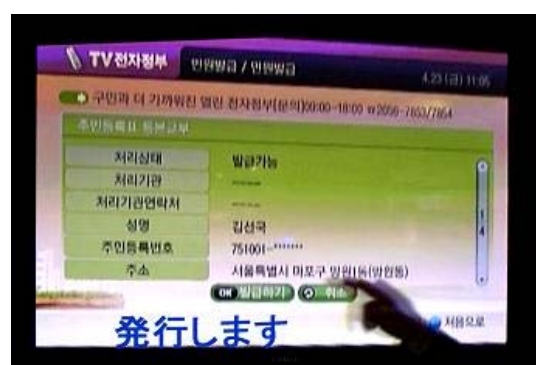
最も先進的な自治体、韓国全土で提供されている電子行政サービスの基礎を確立したソウル市江南区役所では、CATVを活用した電子行政サービスの実験が始まっています。

このサービスの利用者は14万人。（区民53万人）

CATV会社が情報編集をするので、自治体側の費用負担はありません。CATV会社は目次の中に地元の通販ボタンをいれるなど商用サービスと組み合わせて提供しています。

写真は、YOUTUBEの映像からのクリップ

これから（超高齢社会）の電子政府・電子自治体を考えるシンポジウム資料サイトからリンクされています。<http://www.mellow-club.org/e-govsympo/about.html#program>



福田委員提出資料

字幕付きCMの取り扱いについて

I. 最近の動きについて

最後に《参考》として記載したとおりのトライアルを現在、実施中。

II. 検討方針

搬入されるCM素材は、クローズドキャプションの字幕データが重畳されたHD素材を前提。放送局側では、当該素材が搬入された場合に、CMバンクから安全・確実に自動送出できる仕組みを構築することを目標とする。また、当該素材の出稿・制作・搬入については、広告主・広告会社側の取り組みと協力が不可欠なため、日本広告業協会、日本アドバイザーズ協会などと連携した作業と情報共有を図る。民放連ではWGを設置し、在京テレビ5社で実施したトライアルについて、課題・問題点を共有したうえで、“搬入ルール(技術的な要件を含む)”“考査”などについて検証を進めることとしている。ただし、実施にあたっては、放送局により、マスター改修が必要など送出面での条件に差異がある。トライアルが蓄積された段階で、情報共有した事項や検討・検証課題など整理し、民放連としての“搬入ルール”をまとめる際の基本資料とする。

III. 検討経緯

民放連では2010年2月、営業委員会に「字幕付きCMに関するWG」(在京テレビ5社のCM責任者で構成)を設置し、これまでに6回会合を開催している。昨年度は、字幕付きCMの現状と課題整理、および、民放連としての検討の進め方について議論。番組の字幕付与と同様に、まず在京テレビ5社で実験な取り組み(トライアル)を実施し、その状況や課題・問題点などを情報共有することとした。本年度は、WG委員に在京テレビ5社の技術担当者を加え、技術的な検討課題やCM業務・運行上の検討課題などを抽出し整理している。

《参 考》 トライアルについて

(1) Dpa [(社)デジタル放送推進協会]

《CMバンク送出》

日本テレビとフジテレビがDpa制作の「ビル陰編」と「声かけ編」の各15秒CMを放送。ともに、放送は関東広域地区(デジタル放送/アナログ放送/ワンセグ)。

＜日本テレビ放送網＞ いずれも番組本編終了後に1本放送

6月6日(日)	24時50分～	『ドキュメント'10』
6月7日(月)	15時55分～	『ゴゴドラ・14歳の母(再)』
6月8日(火)	15時55分～	『ゴゴドラ・14歳の母(再)』
6月13日(日)	25時20分～	『ドキュメント'10』

＜フジテレビジョン＞ いずれも番組枠内に1本放送

6月7日(月)	26時55分～	『ドキュメンタリー大賞』枠内
6月8日(火)	4時25分～	『めざにゅー』枠内
6月9日(水)	15時00分～	『大奥第一章(再)』枠内
6月10日(木)	15時00分～	『大奥第一章(再)』枠内

(2) パナソニック

《番組サーバー送出》

2010年3月22日(月・祝)、TBSテレビがパナソニックドラマシアター『ハンチョウ』で実施。JNN系列で全国放送(デジタル放送/アナログ放送/ワンセグ)。 以上